



オススメ白泉社文庫

● テーマ ●

解説者列伝！

本の最後に載っているあとがきや解説って、けっこう楽しみだったりしませんか？ 意外な人が語っていたり、その人ならではの視点から作品を読み解いてあったり。新しい発見との出会いや、そう思うはずなづいてしまう時間は同じ読者として嬉しいもの。今回はそんな解説や巻末に収録されている対談を大特集！！

●人の心に残るわけ



櫻の園 吉田秋生

解説は映画監督の中原俊。この作品は、二度映画化されている映画でもあります。しかも同じ中原監督の手によって。監督がこの作品を読んで、何を感じ、何を讀みとってあの映画を撮ったのか、心の中に潜ることができるような解説は、そのまま監督が作者の世界に潜っていったときの胸の震えが文字にされたものだと思います。

全1巻好評発売中！

●もうひとつの作品を楽しむ



ガラスの仮面 美内すずえ 第20巻

解説は演劇界の巨匠であり、映画も手がけるあの蜷川幸雄。もうその時点で、「紅天女」を目指すふたりの若き女優・北島マヤと姫川亜弓の世界が、現実と交錯したような錯覚を覚えずにいられません。仕掛けの施された解説には、途中ハラハラひやひやさせられます。その理由がわかったときの「！」も、醍醐味のひとつでした。

好評刊行中！

●この本でまた会える



はみだしっ子 三原 順 第3巻

この本の巻末に収録されているのは、今はもうこの世にはいない作者の三原順と、同じく漫画家のくらもちふさこの対談。きっと同じ時代に、同じように熱狂的にファンに愛される作家として作品を発表しつづけていたおふたりだからこそわかりあえることがたくさんあっただろうと、想いをはせずにいられない対談は必読です。

全6巻好評発売中！

●日本語教科書としての漫画



パタリロ！ 魔夜峰央 第14巻

解説は、ワイドショーでじゃればかり言ってるやたら日本語の達者な外国人・デーブ・スペクター。彼が放送プロデューサーであることを、この解説の肩書きを読んで思い出したくらい、日本のお茶の間に馴染みきった方だと思います。その彼が、日本語を日本の漫画で学んだとは！ きっと今も次なるデーブは増殖中のはず。

好評刊行中！

●楽しいおしゃべり



なんて素敵にジャパネスク 山内直実 氷室冴子／原作 第5巻 第6巻

原作の小説を書いた今は亡き氷室冴子と、あらたに漫画という形で作品を楽しませてくれた山内直実の対談が収録された二冊。原作とそこから広がる世界の蜜月が感じられて、興味深いです。時間は戻らないもので、先へ進むことしかできないけれど、記憶や記録や作品は残るし、伝えることができるんだと改めて胸打たれました。

全6巻好評発売中！

●ほろりとじんわり



ハムスターの研究レポート 大雪師走 第1巻

解説はコピーライターであり、人気サイト「ほぼ日刊イトイ新聞」主催でもある糸井重里。体も脳味噌もちっこいハムスターたちの、日々の姿をまさに「観察」した本作の魅力の理由のひとつを、ごく個人的な想い出と共に、的確に読み解いてくれる解説は、彼自身もまた優れた「観察」眼の持ち主だからこそだと思うのです。

全4巻好評発売中！

●脚本家の目で見てみると



天然素材でいこう。 麻生みこと 第3巻

解説は人気脚本家の木皿泉。胸をつらめく一文は、魅力的な友人たちの中で唯一、普通の女の子である主人公二美について語ったものでした。特別に見える友人たちのなかにもある揺れる気持ち。二美の揺らがらない気持ちの「特別さ」に、この作品を読むたび、華やかな友人たちのように二美に焦がれたことを思い出させてくれます。

全5巻好評発売中！

●両手いっぱい「！」と「♡」



みかん・絵日記 安孫子三和 第2巻

解説はアニメになった「みかん・絵日記」でみかん役を演じた声優の TARAKO。愛犬に「ももじ」（みかんの友達犬の名前）と名付ける彼女は、動物といえど愛しちゃえば家族だし恋犬（？）だし何よりも愛しい存在だと語ります。動物と生活を共にする人間ならではの視点から語られる作品の魅力は心にじんくる温かさを持っています。

全6巻好評発売中！